

歴史を今に伝えて

109

宮澤家住宅

六軒町一丁目を通る入間川街道に面した場所に、宮澤家住宅があります。この辺りは、明治二十六年（一八九三）の川越大火の被害を受けてはいないものの、同大火の直後に建築されたというこの建物は、やはり川越らしく、厚い土壁で南北を覆う防火建築となっています。

敷地は、間口が約二十メートル、奥行きが約三十五メートル。町家特有のうなぎの寝床のような敷地形状とは異なっています。道路側正面にある二階建の母屋は、店と作業空間としての厨子二階（天井の低い中二階）の添屋と、奥の住まいが一体化しています。その奥には、文庫蔵、さらに大正期に建設された離れ座敷が渡り廊下によつて連なっています。

室内を見ると、母屋の一階はかつて照降商（履物と傘を扱う商売）を営んでいたころの店構えの様子がうかがえます。げたの陳列棚や傘をつるした折くぎ、揚戸（板状のシャッター）などが残っていて、当時をほうふつさせます。離れは、入母屋造りの平屋建。主屋と異なり開放的な造りです。室内は座敷と次の間からなり、天井が高くなっています。天井板には桐材を使い、廊下の角には扇垂木風の天井仕上げを用いるなど、書院造りの趣もある、しゃれた建物です。



宮澤家住宅は、川越における街道筋に面する町家の時代性・社会性などの豊富な意義を現代に伝える建築として、ことし三月に市指定文化財となりました。

TV わが街川越 番組ガイド

花と緑のぶらぶら散歩

市内には、花や緑が見られる場所がいっぱい。今回は、「花と緑のぶらぶら散歩」を手に、これから見ごろを迎える花や新緑が見られる場所を巡ります。まちの話題は、「伊佐沼畔花見の道広場」を紹介します。



市が発行したガイドブック「花と緑のぶらぶら散歩」

テレビ埼玉 (38ch)

5月7日(土)／午前9時30分～9時40分
5月8日(日)／午後5時30分～5時40分

川越ケーブルテレビ (15ch)

5月7日(土)～20日(金)
午前9時20分～・午後0時45分～・午後4時20分～・午後5時45分～・午後8時45分～(金～日曜日)・午後10時50分～(月～木曜日)

テコケーブルテレビ (9ch)

5月23日(月)～29日(日)
午前6時30分～・午後0時30分～・午後4時30分～・午後7時30分～・午後9時30分～

*変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

どんぐり

編集後記

桜が散っていくと、ツツジ・ハナシヨウブ・ハナミズキ。さまざまな花が色づく時期を迎えました。正にこれから観光シーズンのたけなわです。市民の皆さんは、連休をどのように過ごす予定ですか？ 市内では小江戸川越春まつりの一環として、川越れんげまつり2005や小江戸川越スタンプラリーなどが開催されます。ぜひお出かけください。私は、これらの取材がない日に、妻と息子夫婦、もうすぐ2歳になる孫を連れてどこへ行こうかと、今からわくわくしています。大人と子どもが同時に楽しめる場所があったらご一報ください▶春は出会いと別れの季節。広聴広報課においても、4月の人事異動で6年間広報を担当していた職員が異動し、新しい職員が配属されました。職員の担当分野も多少変わり、新しい体制で広報の編集が始まっています。これからも、広報川越をよろしく願います。